

■ チャレンジ問題 ■ 小3 三学期内容（啓林館・教育出版）

- (1) 金太郎くんが、お母さんと 弟 と、果物屋にきています。これまでがんばって貯金したおこづかいで、好きな果物を、好きなだけ買うことにしたのです。果物屋で計算してみたところ、金太郎くんの持ってきたお金は、149 円のりんごを 29 個買ったときの値段と、ぴったり同じだとわかりました。「おいしそうなりんごね」とお母さんは言うのですが、金太郎くんはどうしてもメロンが食べたくなり、りんごは買わず、953 円のメロンを 57 個買いました。足りない分のお金は、弟 が出してくれました。さて、弟 は、金太郎くんのために、何円を出してくれたのでしょうか。
- (2) 14 cm の赤えんぴつを、えんぴつけずりでけずると、けずる前より、1.3 cm みじかくなりました。今、赤えんぴつの長さは何 cm になっているのでしょうか。また、その長さは、何 cm 何 mm といえましょうか。
- (3) $\square\square \times \square\square$ 、の \square に $1 \cdot 2 \cdot 3 \cdot 4$ の 4 つの数字をあてはめて、式をつくり、計算します。“4 つの数字のうち、使わない数字があってもよい”とすると、 44×44 を計算した、1936 が、答えとして考えられる一番大きな数となります。では、“4 つの数字をすべて使う”とすると、答えとして考えられる一番大きな数は、いくつになるのでしょうか。
- (4) えみりさんは石が大好きで、スベスベの石を集めています。えみりさんの誕生日に、3 人のお友達、みえさん、りえさん、えりさんが、あわせて 18 個もプレゼントしてくれたので、スベスベの石は全部で 84 個になりました。喜んでえみりさんは、お返しに、3 人のお友達に、キラキラの宝石をプレゼントしました。全部で 24 個の宝石をあげたので、残りは 77 個になりました。さて、えみりさんが、誕生日の前に持っていた、スベスベの石と、キラキラの宝石は、それぞれいくつだったのでしょうか。わからない数を \square として、式に表して、求めてみましょう。
- (5) 1 辺の長さが 4 cm の正三角形を、折り紙に書いて、はさみで切り取り、10 枚の“折り紙の正三角形”を作りました。次に、直径が 8 cm の円の中に、“折り紙の正三角形”を、重なることがないように、ならべていきました。円の外に出ないように、できるだけたくさんならべたとき、“折り紙の正三角形”は、何枚ならぶのでしょうか。